

久小だより

久田見小学校

令和3年2月1日



家庭教育

校長 奥村雅人

2月には家庭教育学級を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施することができません。始まりも終わりもなく終わってしまう家庭教育学級ですが、久田見小学校の保護者の方々のご家庭は充実しているのを感じています。

その根拠は2つあります。

1つ目は、元気アップ週間における取り組みの様子です。報告される結果もさることながら、保護者の方々がまじめに取り組む姿勢をもってみえます。先日も、数人の保護者の方に元気アップ週間への取り組み方について直接お尋ねしました。すると「現代の課題だと感じています。学校からの課題は、子どもも素直に取り組めます。」と言われました。

こうした保護者の皆様方の姿勢こそが、家庭教育で一番大切だと思いました。

2つ目は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への各家庭での取り組み姿勢です。

寒い冬でも、水道が凍っていない場合、登校時に外での手洗いを実施しています。

その時はいつでも運動場の目印に立ち、ソーシャルディスタンスを守りながら手洗いの順番を待ち、丁寧に手洗いをします。

その様子をほめながら、数人の子どもたちにその理由を聞くと、保護者の方々の声かけがありました。

「家でも三密をさけ、手洗いを大切にする」ことをいつも話されているようでした。家庭教育の重要性を痛感しました。

久小だより5月号でも家庭教育の在り方について「大人の姿で示す」という内容をお伝えしましたが、まさにそのことが実践された1年間でした。

家庭教育学級という目に見える会は存在しませんでした。在宅型での家庭教育を継続して実践されたともいえるのではないのでしょうか。

私たち職員も含め、「大人の姿で示す」ことは大切なことです。いろいろな場面で子どもたちのお手本となる姿を示していきましょう。

